

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	初石公民館施設整備改修事業			会計	款	項	目	大事	小事
				01	10	05	06	03	55
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	公民館				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進		主管課長	鶴巻 浩二				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	初石公民館利用者	意図	施設利用者が安全で快適に利用できる状態にする。
事業内容	施設利用者に快適で安全な施設利用を提供するため、施設整備を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和54年に開設した施設である。平成28年度にエレベーター更新工事、平成29年度に外壁塗装・屋上防水工事を実施した。平成30年度には、保健センター隣地に駐車場を確保できたため、その駐車場から公民館までの近道として西初石ふれあいの森に遊歩道を整備した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	満足度調査の総合満足度で4段階評価の3以上		98.70	99	%	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

駐車場が借用できたことにより、施設利用者の駐車場不足が解消され、遊歩道整備により施設までの距離の短縮が図れた。

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

平成30年度には、保健センター隣地に駐車場を借用することができたため、その駐車場から公民館までの近道として遊歩道を整備した。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	16,019,210	22,360,196	2,155,640
事業費(b)(円)	14,852,160	20,816,436	441,720
うち一般財源	14,852,160	20,816,436	441,720
職員給与費(c)(円)	1,167,050	1,543,760	1,713,920
人役・職員(人)	0.17	0.23	0.26
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	保健センター隣地の駐車場からの近道として遊歩道を整備する。	③取組における課題(Check)	施設が老朽化しているため、計画に位置づけて整備を進めることが大切である。
②H30に実施した取組(Do)	西初石ふれあいの森に遊歩道を整備し、駐車場からの距離の短縮を図った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	令和元年度には高圧遮断機・ケーブル等改修工事を計画している。また、受変電設備の更新工事等について計画に位置付ける。